

教材分析シート

(3)年(月)組 授業者(瀬戸 陽子)

教材名

心と心のあく手 (わたしたちの道徳)

内容項目

親切・思いやり B (6)

ねらい

おばあさんの後をそっとついて行き見守る選択をした「ぼく」の気持ちを考えることを通して、相手の立場になって人を思いやり、親切にしようとする道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

ぼく

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

おばあさん

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	おばあさんに荷物を持つお手伝いを申し出たけれど、断られる。
助言者の登場	お母さんから、おばあさんの状況についての説明を聞く。 再び、一生懸命坂を上っているおばあさんに出会う。
転 (道徳的変化) After (変化後)	おばあさんの後をそっとついて行き、坂道を登り切ったおばあさんの様子を見て、「心と心のあく手」ができたと思う。

④ 一文読み (要約)

歩く練習をしているおばあさんに声を掛けようか迷うが、そっと後ろをついて行く選択をしたぼくが、おばあさんの笑顔を見て、「本当の親切とは何か」が分かったような気がした話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 初めておばあさんを見たとき、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 2度目におばあさんを見かけたとき、ぼくはどんなことを考えたでしょうか。
補助発問 (あれば)	おばあさんを出むかえたむすめさんは、どんな気持ちだったでしょうか。
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) 「親切」をしようとするときに大事なことは何でしょう。

